令和8年11月13日(金)	資料8
令和8年度地域・職域連携推進関係者会議	

福島県における地域・職域連携と健康づくり支援策

福島県保健福祉部　健康づくり推進課

目次

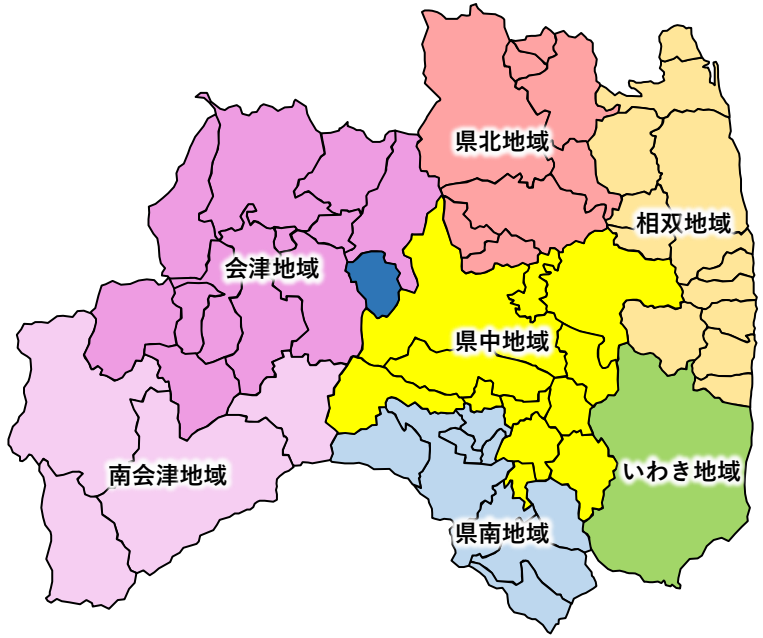
1 地域・職域の連携推進の取組及び福島県の健康づくり施策

2 健康経営トータルサポート事業

3 個人インセンティブや健康リテラシー向上のための取組

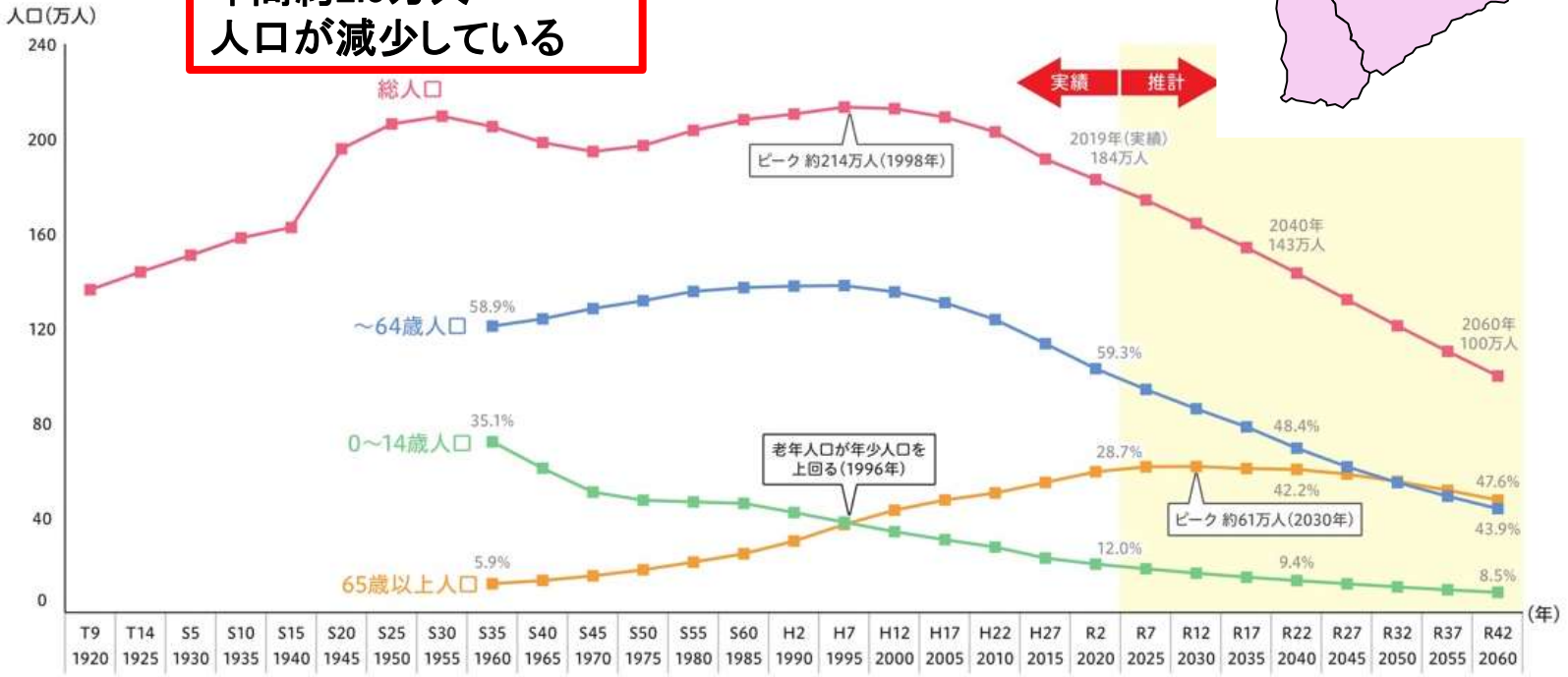
1 福島県の現状

- 福島県は7つの地域に大別され59市町村が所在
- 保健福祉事務所はいわきを除く6地域に設置
- 人口は約170万人（R8.10.1現在）
- 合計特殊出生率は1.14（R7）自然減は△19,122人（R6）
- 社会減は△6,579人（R5）
- 20～24歳の就職期の転出者数が最も多く、特に女性は同年齢の男性の1.4倍（R5）



〈図表1〉 福島県の人口推移

年間約2.5万人
人口が減少している



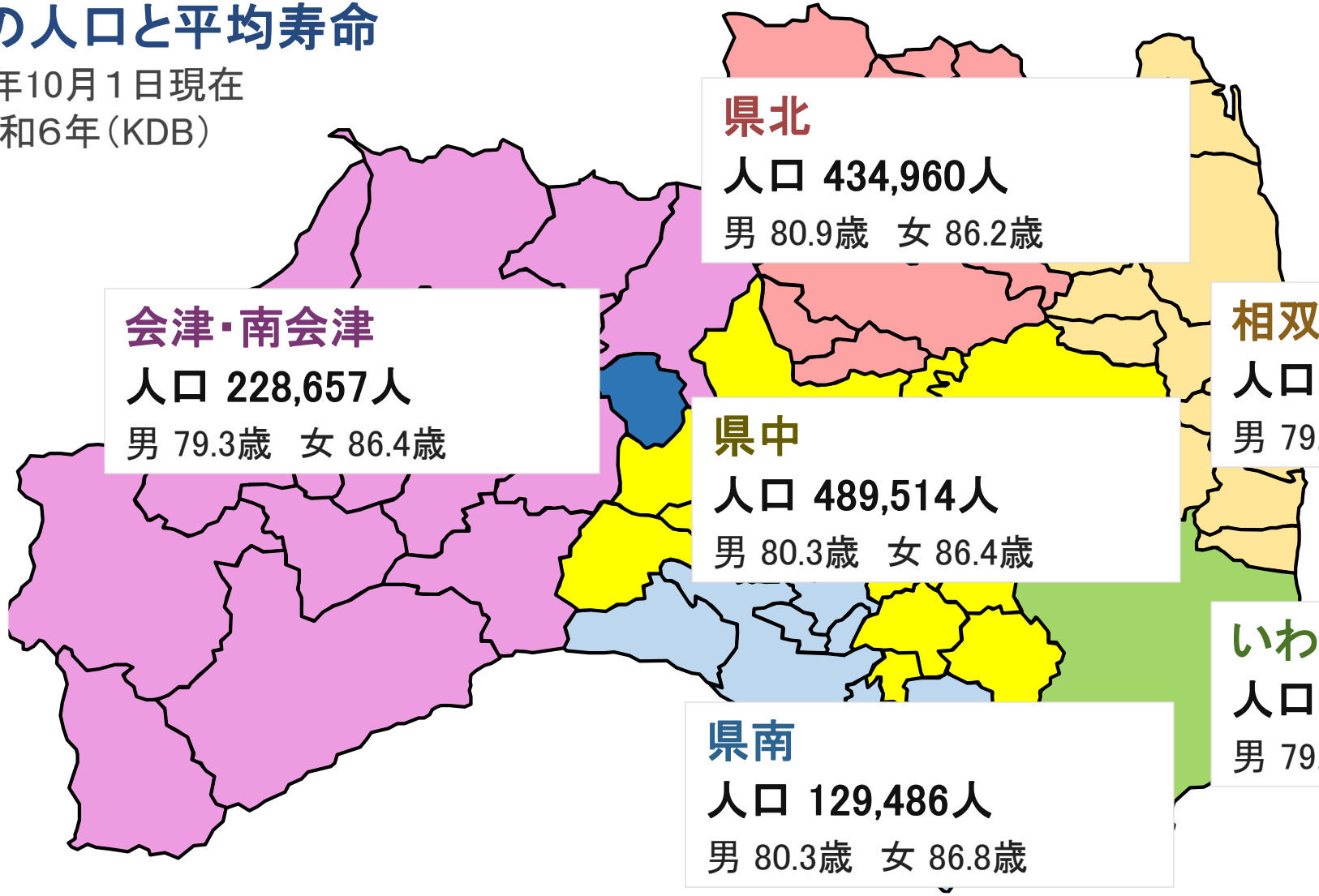
（実績値=10/1時点）

出典：総務省「国勢調査」を元に令和2(2020)年以降福島県による推計

1 福島県の現状

6医療圏の人口と平均寿命

人口：令和8年10月1日現在
平均寿命：令和6年（KDB）



県北
人口 434,960人
男 80.9歳　女 86.2歳

会津・南会津
人口 228,657人
男 79.3歳　女 86.4歳

相双
人口 101,686人
男 79.6歳　女 86.4歳

県中
人口 489,514人
男 80.3歳　女 86.4歳

いわき
人口 309,389人
男 79.4歳　女 85.2歳

県南
人口 129,486人
男 80.3歳　女 86.8歳

※会津・南会津を統合した6医療圏で整理。平均寿命はKDBの平均余命（厚生労働省「生命表」とは算定方法が異なる）。

出典：福島県「現住人口調査月報（令和8年10月）」、福島県国保連合会「令和7年度版 ふくしまの国保のすがた」p.48

1 福島県の現状

全国と比較した福島県民の健康指標



食塩摂取量

男性	女性
11.9→11.1g	9.9→9.0g
全国ワースト11位	全国ワースト20位

引用（2019年国民健康・栄養調査
2024年国民健康・栄養調査）

喫煙率

男性	女性
18.7%	8.6%
全国ワースト3位	全国ワースト4位

引用（2025年国民生活基礎調査）

肥満者の割合

男性	女性
39.4%	26.6%
全国ワースト7位	全国ワースト3位

引用（厚生労働省第10回NDBオープンデータ
2022年度特定健診 検査）

1 健康経営推進の背景

①福島県は生活習慣病の要因となる健康指標が悪い

②生活習慣病の発症リスクは特に「働き盛り世代」で高まる

③「働き盛り世代」の方が多くの時間を過ごす職場における
働き方そのものが健康に結び付くため、環境整備が重要

④県内事業所の「健康経営」の取組を広げていくことで、
自然に健康になれる社会環境づくりを目指す

平成30年度からふくしま健康経営優良事業所の認定制度を開始するなど、県内事業所の健康経営を推進している

1 第三次健康ふくしま21計画

- 本県の健康づくり施策の**基本方針かつ行動計画**（計画期間：R6～R17の12年間）
- 基本理念と基本目標の達成に向け、**4つの主要施策と重点スローガン**を設定
- 重点スローガンのロゴマークを作成し効果的に情報発信を実施

＜第三次健康ふくしま21計画の体系＞

「基本理念」
～実現を目指す将来の姿～

**誰もがすこやかにいきいきと活躍できる
笑顔あふれる健康長寿ふくしまの実現**

基本目標　健康寿命の延伸と健康格差の縮小

重点スローガン　みんなでチャレンジ！　減塩・禁煙・脱肥満

主要施策１
個人の行動と健康状態の改善
- 1-1 生活習慣の改善
  (1)栄養・食生活 (2)身体活動・運動 (3)休養・睡眠
  (4)飲酒 (5)喫煙 (6)歯・口腔の健康
- 1-2 生活習慣病の発症予防・重症化予防
  (1)がん (2)循環器病 (3)糖尿病 (4)COPD
- 1-3 生活機能の維持・向上

主要施策２
社会環境の質の向上
- 2-1 社会とのつながり・こころの健康の維持・向上
- 2-2 自然に健康になれる環境づくり
- 2-3 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤づくり

主要施策３
ライフコースアプローチを踏まえた健康づくり
- 3-1 子ども
- 3-2 高齢者
- 3-3 女性

主要施策４
東日本大震災・原子力災害の影響に配慮した健康づくり

県民に親しまれる
スローガンの
ロゴマークを作成

＜テキスト版＞

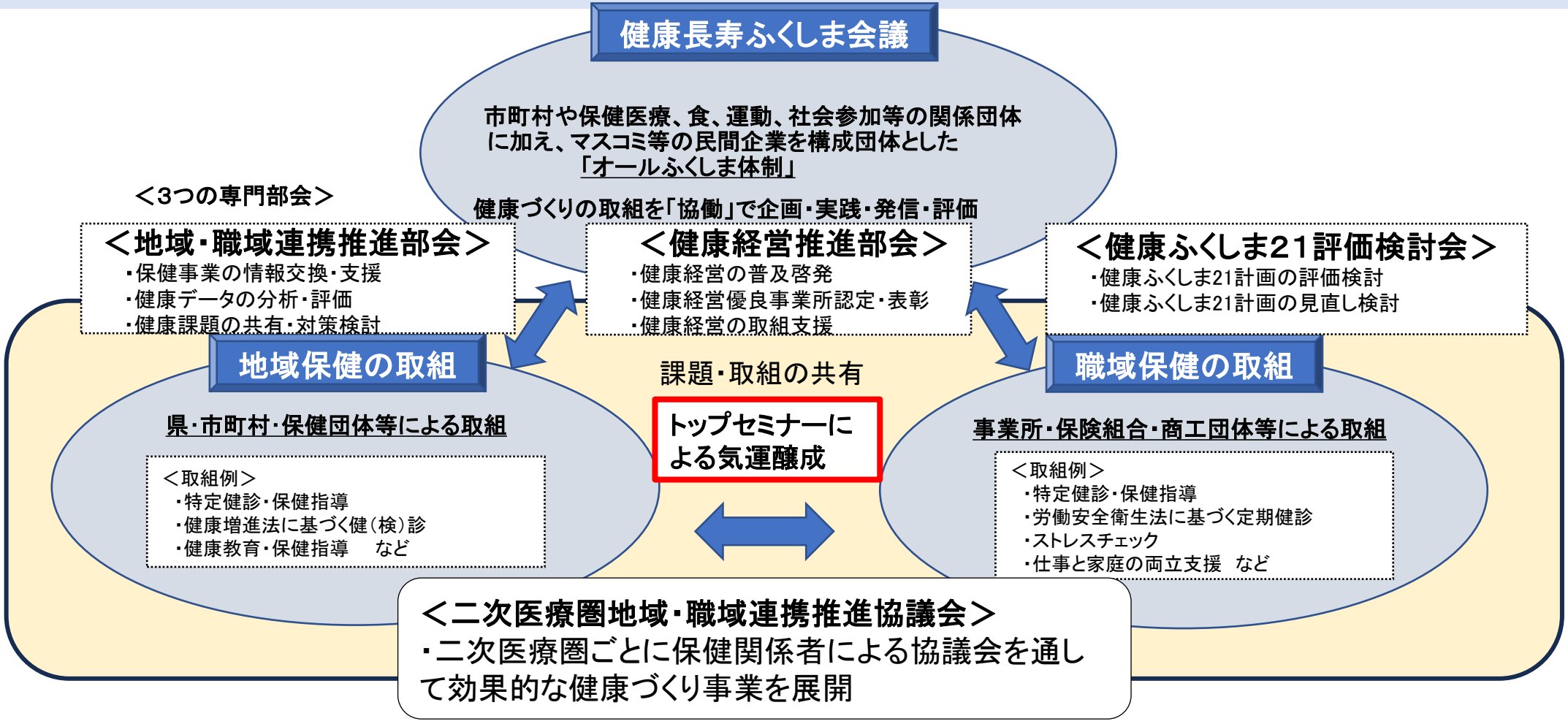


＜イラスト版＞



1 推進体制

- 知事をトップとし各専門機関38の代表者が集まる「健康長寿ふくしま会議」を設置
- 健康長寿ふくしま会議と、市町村等の地域保健、事業所等の職域保健が連携・協働し、オールふくしまで県民の健康増進を進めている



目次

1 地域・職域の連携推進の取組及び福島県の健康づくり施策

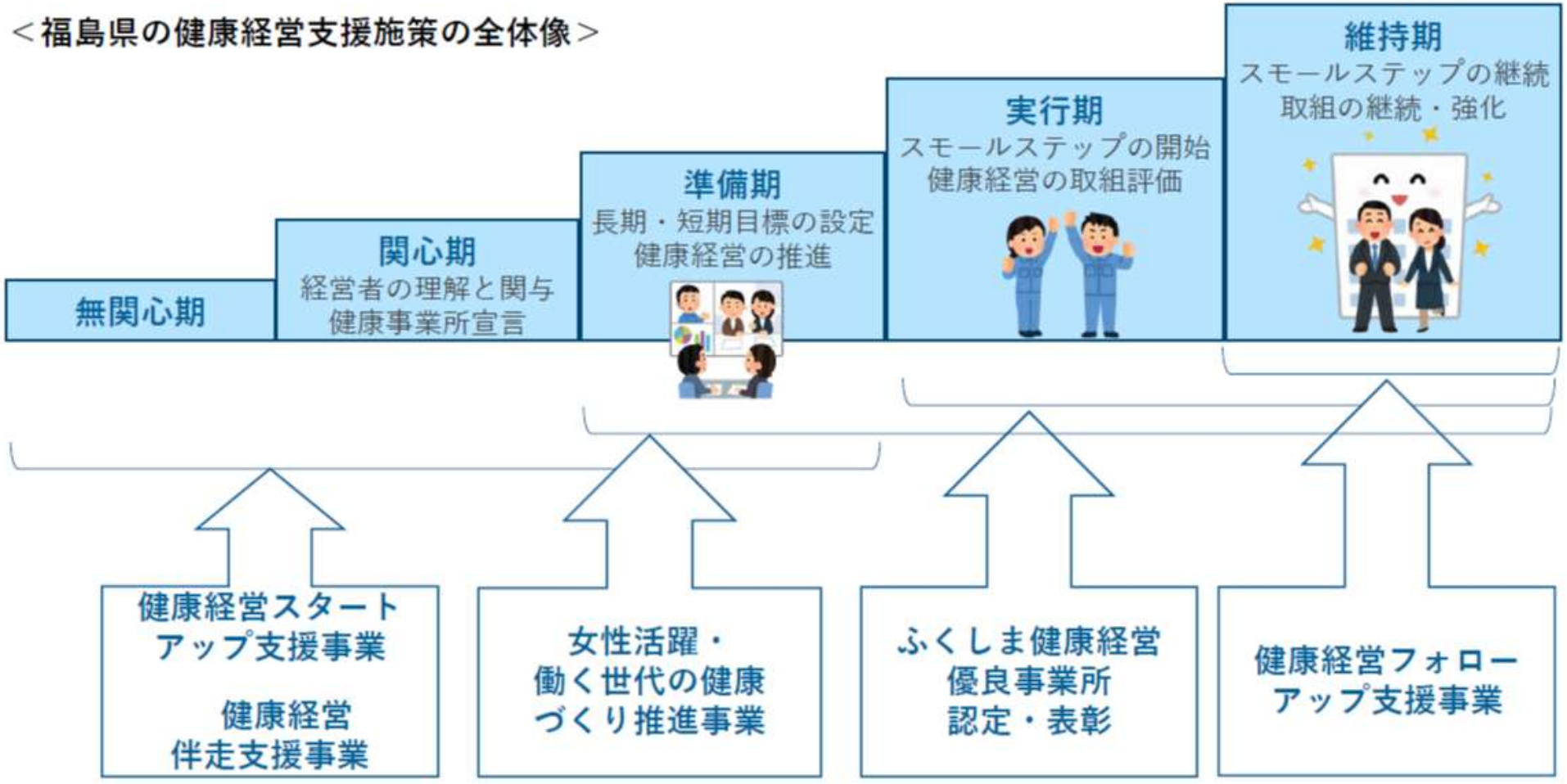
2 健康経営トータルサポート事業

3 個人インセンティブや健康リテラシー向上のための取組

2 健康経営トータルサポート事業

健康経営トータルサポート事業
健康経営®の取組開始（スタート）から発展・維持期（フォロー）まで、各事業所の全ての取組段階を支援する。

＜福島県の健康経営支援施策の全体像＞



出典：福島県健康づくり推進課作成

健康経営®は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

2 健康経営スタートアップ支援事業

- 健康経営に**新たに取り組む事業所を支援**するため、①県や関係機関の**支援メニューの情報発信**、②**リーフレット**を活用した普及啓発、③**健康経営セミナー**を開催。
- 今年度の健康経営セミナーは**「女性の健康」をテーマ**に県内3会場で実施。

＜健康経営の支援メニュー＞

福島県「健康ふくしまポータルサイト」
⇒今後更新し公開予定

＜リーフレット「始めませんか？ふくしま健康経営」＞

福島県「健康ふくしまポータルサイト」
⇒「健康経営スタートアップ」のページでダウンロード可能
冊子が欲しい場合は配布可（問合せ先：健康づくり推進課）

＜ふくしま健康経営セミナー＞

・令和8年度は「女性の健康」をテーマに「白河市、喜多方市、南相馬市」の3会場で実施。
・県立医科大学の小川真里子特任教授（産婦人科医）の基調講演や事業の取組事例紹介、出席した事業所とのパネルディスカッションを実施。

セミナーの周知啓発を依頼
・商工団体
・福島県労働保健センター
・協会けんぽ





2 健康経営伴走支援事業

全国健康保険協会
協会けんぽ

県内の企業数
（協会けんぽ）
約38,000社

宣言事業所数を
増やしていきたい



健康事業所宣言社
2,544社
（R8.9.30現在）

HePM
ふくしま健康経営優良事業所

優良事業所数
320社（R7）
260社（R6）

県

委託



福島県労働保健センター
（受託者）が県内事業所
を訪問

健康経営について意識啓発

健康課題等ヒアリング

課題整理・課題解決のサポート

健康事業所宣言

伴走支援の実施

将来的な「ふくしま健康経営優良事業所」の認定取得を促進

2 ふくしま健康経営優良事業所認定・表彰

ステップ1

前年度12月までに
健康事業所宣言

協会けんぽ
加入事業所

その他の
事業所

健康経営の取り組みを
確認するアンケート回答
（6月～7月）

協会けんぽ

県健康づくり推
進課

ステップ2

県への推薦（8月）

認定審査・表彰選考

意見・審議等

健康長寿ふくしま会議
健康経営推進部会

11月頃開催予定

認定事業所・表彰事業所
決定

ステップ3

ふくしま健康経営優良事
業所表彰式（12月）

認証状の交付・
表彰
（県知事賞、福島民報社賞、
福島民友新聞社賞）

部会委員
東京大学　古井先生、
福島県商工会連合
会協会けんぽ福島
支部、厚労省福島労
働局…

認定詳細

- 県からの認定通知、認証状の交付
- 認定有効期間は2年間
- 認定を3期連続取得した事業所を「長期」優良事業所として認定

＜R7表彰受賞事業所＞



2 ふくしま健康経営優良事業所認定数の推移

- 初年度35社から8年目の2025年度は320社まで増加
- 2024年度から「長期」優良事業所の認定をスタートし、2025年度の「長期」は117社

認定取得のメリット

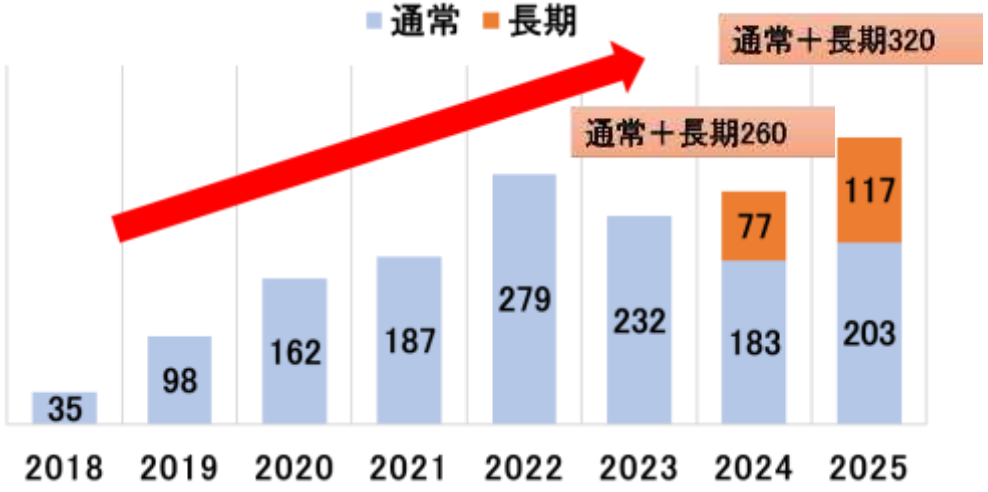
企業イメージの向上
認定を取得していることで社内外から評価を受けることができ、企業イメージの向上につながる。

奨励金の受領
認定取得事業所に10万円交付
（令和7年度認定から開始）
※奨励金の受領には他にも条件あり

ロゴマーク使用
自社ホームページや名刺に表示し、PRに活用。

入札等への加点
・工事等入札参加資格審査において10点加算
・総合評価方式（標準型、簡易型）において0.5点加算
・物品購入競争入札参加有資格者は優先選定の対象

＜認定数の推移＞

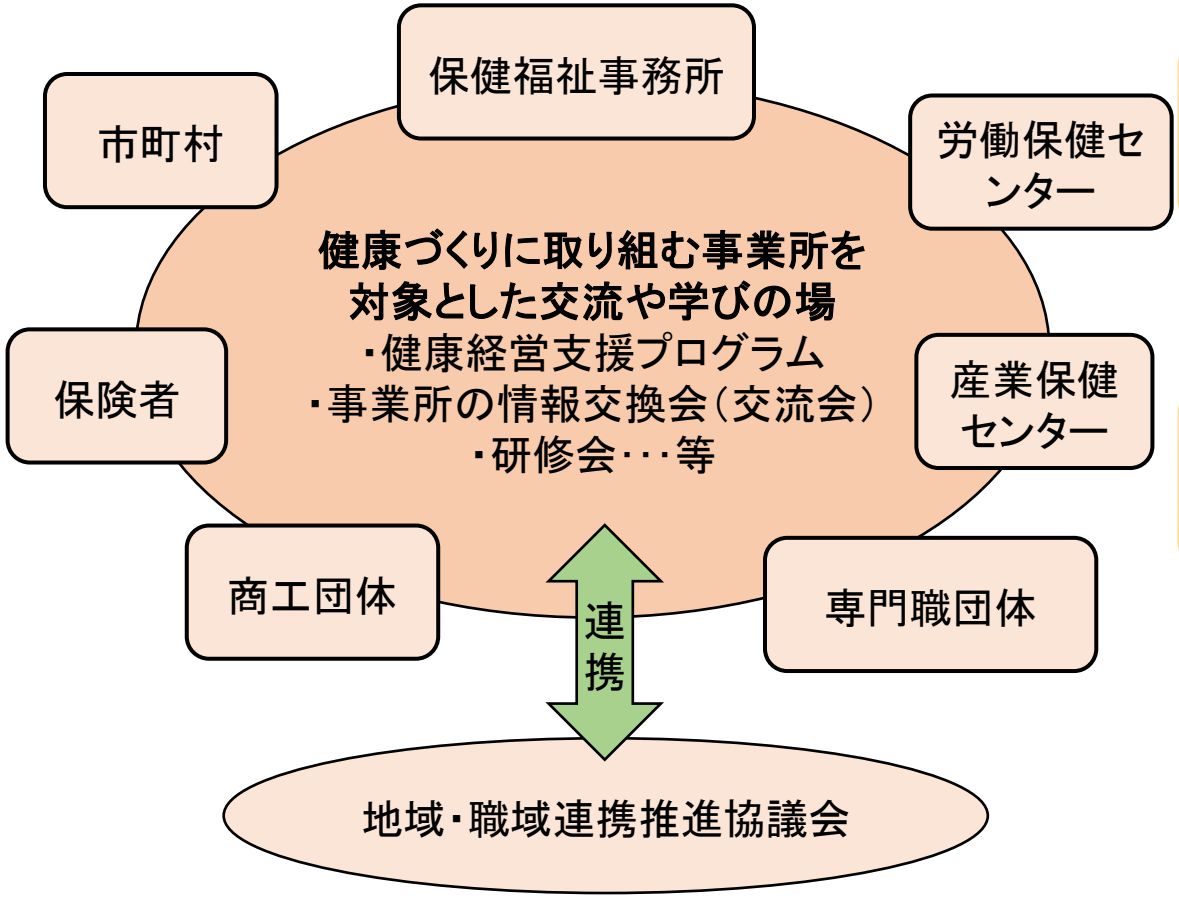


＜優良事業所、「長期」優良事業所のロゴマーク＞

3期以上連続取得で長期へ！

2 健康経営フォローアップ支援事業

● 県内の6保健福祉事務所が中心となり、各地域において、健康経営に取り組む事業所の情報交換や取組の共有の場を設けるとともに、評価等支援し、PDCAサイクルを回すことで、事業所の健康づくりの取組継続や発展を図る。



事業所の健康づくりの課題や取組等を共有・情報交換、効果的な取組に向けた学び

事業所が健康経営に取り組む中での疑問や悩みの解決のヒントを得る　事業所や関係機関の顔の見える関係づくりへ

事業所の健康づくりの取組継続・発展、地域での健康経営の推進

目次

1 地域・職域の連携推進の取組及び福島県の健康づくり施策

2 健康経営トータルサポート事業

3 個人インセンティブや健康リテラシー向上のための取組

3 減塩

令和7年度働き盛り世代の減塩実践チャレンジ事業「モデル事業所における減塩実践チャレンジ事業」

（1）セミナーの開催（2回）

内　　容：自分の塩分摂取の傾向を知り、減塩の重要性や日々の食事内容を振り返りながら、日常生活での減塩を実践するためのポイント等について学ぶ。

講　　師：管理栄養士

開催方法：集合型またはオンライン等による

（2）情報発信　減塩に関するニュースレターの発行

（3）食行動チェック票を用いた自己判断

食行動チェック票による日頃の食生活や塩分摂取状況の把握・振り返りを行うとともに、減塩に関する知識の習得や参加者同士の意見交換を通じて、健康意識の向上及び行動変容の促進を図る。

※事業の結果については各事業所に報告書を送付。



ふくしま減らしおTimes.　2026年2月発行

ワシオ商会社員、16名が「減らしおセミナー」を受講！

2026年1月17日（土）、会津若松ワシントンホテルで、福島県健康づくり推進課が「楽しお！美味しお！減らしおセミナー」を開催。有限会社ワシオ商会の社員、16名が参加しました。

福島県では、がんや脳血管疾患、心疾患などの生活習慣病の死亡率が全国ワーストクラスであるため、県民の健康指標の改善を目指して、働き盛り世代を対象に本セミナーを企画。県民の健康課題の解説や、無理なく取り組める健康的な食行動の提案等を通して、適性な食生活を理解し、減塩につながる行動変容にチャレンジしてもらいます。

計2回のセミナーの内、1回目となる今回は、管理栄養士による「がんばらない減塩の基本」をテーマに実施。食行動チェック票に記入して、自身の生活習慣の課題を3つのタイプ別に把握してもらいました。この結果を踏まえて各自に減塩に挑戦してもらい、2回目は減塩チャレンジの状況をグループワークで討議する内容を予定しています。

3 福島県オンライン禁煙サポートプログラム



●対象
県内にお住まいの30歳以上の方（先着300名）

●参加費
無料

●内容
スマートフォンから専用アプリ「Medically」を通じて禁煙支援を行うもので、医師による診察と禁煙補助薬の使用、医療チームへの相談などを行いながら、卒煙を目指す。
禁煙補助薬を使用しない場合は、保健師等とのオンライン面談や個別メッセージ支援により卒煙を目指す。

3 個人インセンティブや健康リテラシー向上のための取組

①ふくしま健民アプリ

・福島県が開発・提供しているアプリ
・毎日の歩数や体重・体温等の記録でポイントを獲得
・食事内容にAIがアドバイス
・健康情報や各種キャンペーンの情報も
　随時発信
・企業対抗ウォーキングイベント



②県You Tubeチャンネル

・福島県健康づくり推進課では
　ユーチューブチャンネルにおいて、
　様々な健康情報を発信中
・例）健康経営優良事業所の取組事例
　　メタボ対策や喫煙、
　　休養・睡眠、メンタルヘルスなど

企業内での研修等にも
活用できます！

↑福島県健康づくり推進課
YouTubeチャンネル

3 福島県女性活躍・働く世代の健康づくり推進奨励金

女性の健康づくりや働きやすい職場づくりに取り組む事業所に、奨励金の交付やメディアを活用した広報を行うことで、県内事業所の魅力向上と人材の確保・定着を促進し、**女性が健康でいきいきと活躍できる地域社会の実現を目指す**

事業スキーム



●奨励金を交付する取組項目
①休暇の取得促進
②環境整備
③費用助成

ステップ1
健康事業所宣言の実施



ステップ2
女性の健康に関する知識を学んだ上で、女性の健康づくりの取組を実施

ステップ3
ふくしま健康経営優良事業所の認定取得

HePM ふくしま健康経営優良事業所

ステップ4
「長期」優良事業所の認定取得

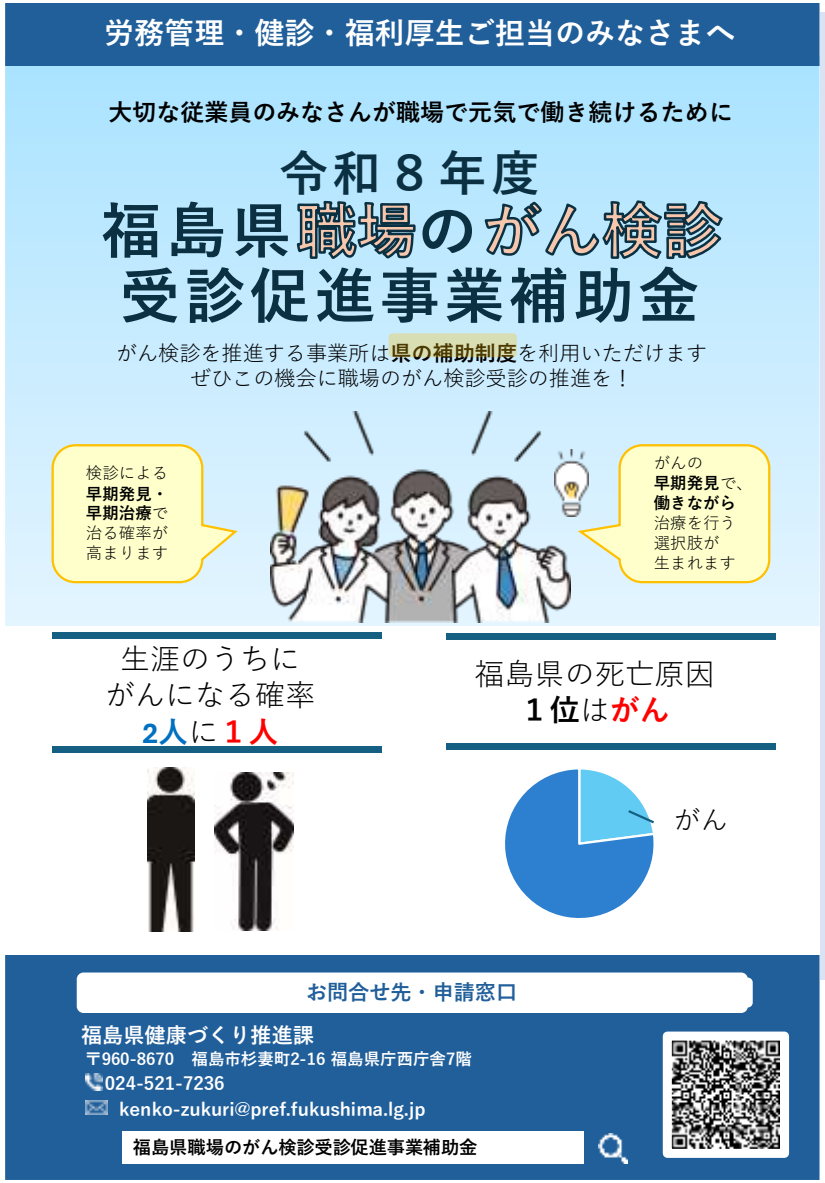
長期継続

人材確保・女性活躍
県内定着の促進



ステップ2と3を達成で
それぞれ奨励金を最大40万円交付

3 福島県職場のがん検診受診促進事業補助金



●補助対象経費
　従業員のがん検診受診費用助成制度の整備及び運用に係る経費等

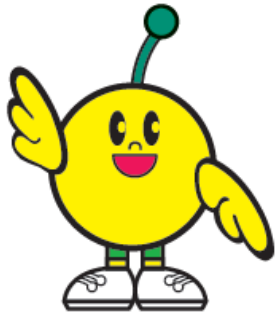
●対象のがん検診
- 胃がん検診（胃部エックス線検査又は胃内視鏡検査）
- 子宮頸がん検診（細胞診又はHPV検査単独法）
- 肺がん検診（胸部エックス線検査）
- 乳がん検診（マンモグラフィ）
- 大腸がん検診（便潜血検査）

●補助割合
１０／１０（１企業あたり４万円上限）

結び

福島県では、県民を始めとして、企業や関係機関、行政が力を合わせ、**「誰もがすこやかにいきいきと活躍できる健康長寿ふくしまの実現」**を目指していきます。
ご清聴ありがとうございました。

みんなでチャレンジ！
減塩・禁煙・脱肥満



福島県復興シンボルキャラクター
「キビタン」

お問い合わせ先

福島県健康づくり推進課　電話 024-521-7236

お気軽にお問合せください